

進水する世界初の液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」=11日午前、神戸市中央区東川崎町3 (撮影・秋山亮太)



① 水素は通常気体ですが、どのようにして液体にするのですか。

[]

② 水素ガスは何から生成しますか。

[]

世界初 液化水素運搬船

③ 液化水素はどこから、日本のどこまで運んできま

[] から
[] まで運ぶ。

④ 11日に進水した世界初の液化水素運搬船の名前を書きましょう。

[]

⑤ 記事中の「支綱」とはどんな役割をするものですか。

[]

川重が進水式 豪州↓神戸 輸送実証へ

次世代エネルギーとして期待がかかる水素を、液体状にして海上輸送する世界初の液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」の命名

・進水式が11日午前、川崎重工業神戸工場（神戸市中央区）で開かれた。約4千人が見守る中、真新しい船体が海上に浮かんだ。

液化水素は水素ガスを零下253度まで冷却し、気体よりも体積を800分の1に圧縮することで一度に大量輸送が可能になる。運搬は、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が支援する水素供給網構築に向けた事業の一環。川重や岩谷産業などが2020年度、「褐炭」と呼ばれる低品質の石炭から水

素ガスを豪州で生成し、液化した上で、神戸までの長距離・大量輸送や貯蔵などの実証を行う。

川重は1981年に液化天然ガス（LNG）運搬船をアジアで初めて建造。貯蔵タンクの冷却技術などを生かし、液化水素の運搬船開発にこぎ着けた。同工場で建造された運搬

船は全長116メートル、幅19メートル。この日は、式典に招待された地元の小中学生や住民が見守る中、船体を陸上につなぎ留める「支綱」が切断されると、紙テープや風船が舞い上がり、船体が海に滑り込んだ。今後、貯蔵タンクの搭載や試験航行を経て実証開始に備える。（横田良平）

名前【 】

NIEワークシート／小学校高学年～中学生／国語、理科、朝NIE